

ま 真室川町

# 議会だより

2024年10月24日

No. **168**



スポーツの秋

— 安楽城保育所運動会 —

|                  |    |
|------------------|----|
| 物価高騰に迅速に対応（決算審査） | 2  |
| 災害対応で緊急補正（議案審議）  | 5  |
| 一般質問（5人登壇）       | 7  |
| 県外視察研修報告         | 12 |
| 第1回臨時会・議会のうごき    | 13 |
| 町民の声             | 14 |

真室川町LINE公式アカウント  
@mamurogawa\_town



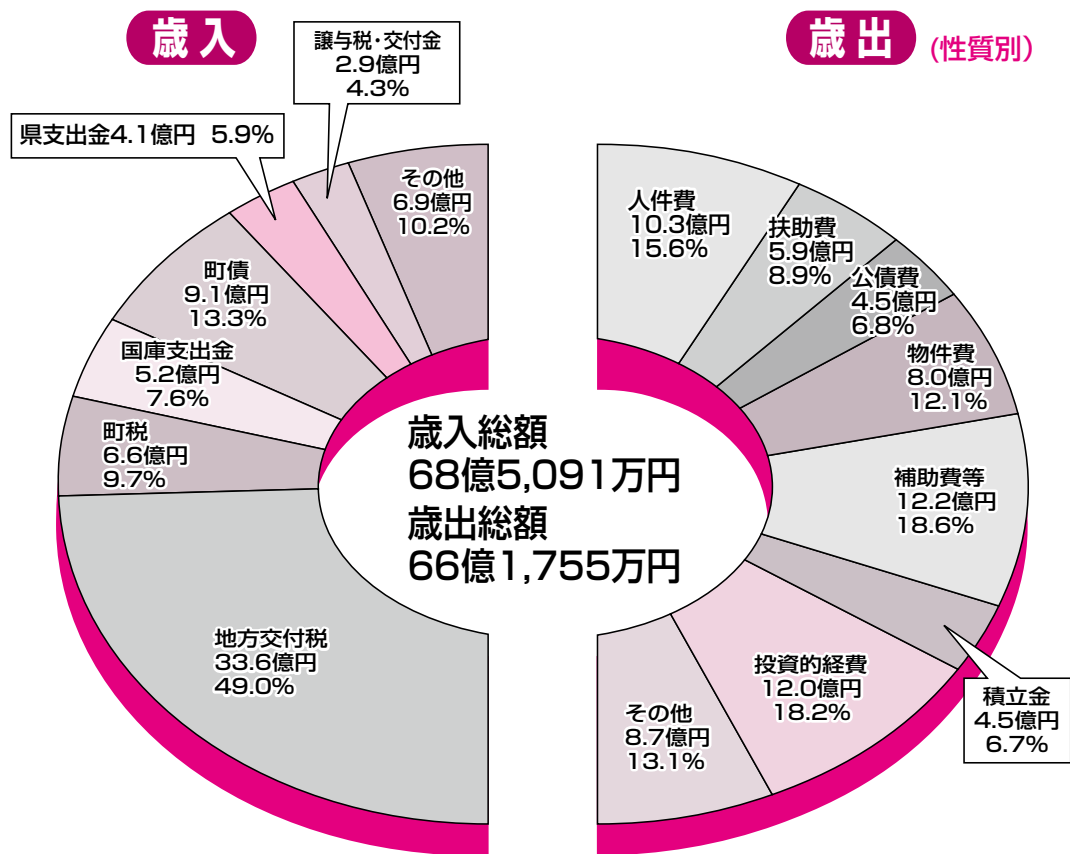
暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！  
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください



# 物価高騰に迅速に対応

健全財政を維持

## 一般会計の構成



## 決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長  
菅原 道雄

### ■一般会計

令和5年度は、コロナ禍と物価高騰の状況下にあったものの、経済対策に迅速に対応し、各事業が着実に執行されている。公債費比率は前年度並みの水準を維持し、将来負担比率についても大幅に改善しており、良好な状態を保っていることは評価できる。

### (歳入)

・町税等は、納付方法の電子化の浸透や、未収金対策委員会の取り組みの成果により、滞納額の圧縮に成果が表れている。

・「ふるさと納税」は、昨年度を大幅に上回り、関係人口の拡大につながるものと期待する。より付加価値の高い町特産品の開発と、町HPの充実など、情報発信の強化を望む。

(歳出)  
・7月の豪雨災害により、甚大な被害が発生したが、防災行政無線更新工事の完成や、戸別受信機などの配備により、町民の安全確保につながったと考える。引き続き、課題検証や円滑な運用により災害時の町民の安全確保に努めること。

### ■特別会計

・町立病院は、医療機器の計画的更新や、看護師の処遇や勤務体制改善など、町民が安心して受診できる環境整備がなされている。地域包括ケア病床の導入、「公立病院経営強化プラン」の策定により、医師・看護師の確保や一般会計からの繰出金の圧縮、安定経営に向けた取り組みを望む。

## 質疑のあれこれ

### 一般会計

#### 債務残高と交付税措置

**平野勝澄委員** 町は借金が多くて大変だと考えている方々がかなりおられる。町債の起債にあたって後年地方交付税の算定に加えられる交付税措置というものが少なからず含まれているが、現在の町債残高のうち、この交付税措置によって償還する見込みが立っている分はどの程度あるか。

**総務課長** 起債の種類によって、概ね7割から10割の交付税措置が取られている。実質的な借金といえるのは多くて3割程度で、実質公債費比率では県内2位、将来負担比率でも上位で推移している。

**町長** 心配される方はあるが、余裕がなければ

ば公民館建設などのような事業には取り組まない。建てたとしても後年度に大きな負担は残さないと断言できる。

**代表監査委員** 監査意見書記載の通り、町の財政は非常に安定していると認識している。

**防災力基盤強化事業**  
**姉崎園子委員** 防災無線工事が完成し、各世帯に配備された戸別受信機の運用が開始されたのか、効果はどうだったのか。

**総務課長** 昨年10月より運用を開始し、町の情報発信等に使用してきた。今般の豪雨災害において、本来の主旨である防災の面で大きく寄与したと考える。設置台数が7割、アナウンス力、文章の簡素化等、課題があるが、それらをクリアし、分かりやすい運用を進めていく。

**企画課長** 料金は基本100円で令和5年度は2641名の利用実績があり、稼働日は65日であった。ゴルフデーンウィークの利用客が多い。今後平日においてもトロッコの軌道を活用できるよう安全第一で検討を進めていきたいと考えている。

### キャッシュレス決済ポイント還元事業

**姉崎園子委員** この事業の要因について。

### 企画課長

デジタル化の浸透、他市町村より交流人口の来町によるものと考えている。町の考え方として、プレミアム商品券や令和5年度1人1万円の給付商品券、デジタル化の推進、地域での消費喚起、町民への生活支援等さまざまな側面でバランスをとったうえで事業である。

### 除雪機購入費補助金

**佐藤正委員** 除雪機購入費補助金の効果は。

### 企画課長

申請30件を頂いている。自動式小型除雪機本体27件、タッチメント3件である。中古も含めて対応している。経費負担の軽減になり助かったとの声が聞かれた。

### 婚活事業

**平野勝澄委員** 官製婚活については、結婚という極めて私的・プライベートな領域に行政が手を入れるということに批判もある。この際、こうした事業は見直し、むしろ子どもをもうけたくとも持てない方々の支援に力を入れてはどうか。

**町長** 現在の事業をやめるということは考えていない。少子化対策、未婚の女性の転出防止は町にとって大事なこ

### 斎場改修事業

**姉崎園子委員** 工事期間中に何件他の斎場での火葬をお願いしたのか。改修工事をしたことによる町民の反応は。

### 町民課長

改修工事を午後から行うことにより、午前中に火葬ができたが、3件の方には他での火葬をお願いした。待合室の段差がなくなり移動しやすくなった。内装も含め改修しているため明るく、きれいになったとの声がある。

**佐藤正委員** 斎場委託だが、何名で運営しているのか。

### 町民課長

業者に委託している。通常、1名が常勤し、火葬が入った場合には2名の態勢

## 令和5年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位: 円)

| 会計   |         | 区分 | 歳入額           | 歳出額           |
|------|---------|----|---------------|---------------|
| 一般会計 |         |    | 6,850,913,103 | 6,617,553,676 |
| 特別会計 | 国民健康保険  |    | 84,405,694    | 83,894,856    |
|      | 後期高齢者医療 |    | 97,489,178    | 97,142,324    |
|      | 介護保険    |    | 1,113,439,891 | 1,071,208,600 |
|      | 病院事業    |    | 1,071,866,994 | 1,070,582,128 |
|      | 水道事業    |    | 303,682,848   | 299,846,936   |
|      | 公共下水道事業 |    | 141,672,832   | 141,672,832   |
|      | 梅里苑事業   |    | 74,100,067    | 61,614,091    |
| 合計   |         |    | 9,737,570,607 | 9,443,515,443 |



戸別受信機

### 森林トロッコ使用料

**小松健弥委員** 実績の説明と今後梅里苑エリア全体の利用拡大を目指す新たな展開は何か考えているのか。



で運用している。



改修された斎場の待合室

#### 環境王国推進事業

**高橋秀則委員** 環境王国の取り組みを活用して更に真室川町産米の差別化を図り売り出すような新たな方策は考えていないのか。

**農林課長** 環境王国については、現在、全国から16の市町村が協議会を作って取り組んでいる。町内では昨年度新たに生産組合も組織され、食味コンクール最高賞を目指して取り組んでいる。若い農業者に取り組みを継承していくよう関係者や関係団体と協力し進めていく。

**佐藤正委員** 環境王国と米コンクールは同じなのか。

**町長** 環境王国と米コンクールは、イコールかという本筋は、別であると思う。環境王国、真室川の環境の保全、継承するとかの活動に従前から取り組んでいたのか、具体的にどんな手法なのか、今後、方針を定めている。

#### 灯油購入費等助成事業費

**小松健弥委員** 給付実績と今後の物価高騰に対する対応は。

**福祉課長** 令和5年度は物価高騰分を考慮し一世帯当たり5千円に3千円をプラスして給付している。今年度も物価高騰分を考慮している。

#### 新庄神室産業高校真室川校魅力化地域連携事業費補助金

**高橋秀則委員** 実績の詳細は。

**教育課長** 真室川校への支援については入学時に10万円、在校生には通学費として5万円を基本として支援している。その他部活や進路指導のための応援として学校後援会の方に50万円を支援している。更には子ども達が社会人として魅力ある人材となっていたりするため資格取得支援も行っている。現在生徒数は22名である。

#### 中学校管理費の備品購入費

**小松正弘委員** 熱中症対策で中学校に設置した「大型冷風機」の活用状況について伺う。  
**教育課長** 体育館全体を冷やすのではなく、活動後又は、休憩中のクールダウン用に活用している。学校からは涼しく熱を下げる効果があり好評のようだ。

今年度は小学校にも導入したが、音も低く運動以外で使用しても気にならないと大変好評であると聞いている。

#### 介護保険特別会計

#### 施設介護サービス費

**高橋秀則委員** 実績の詳細は。町民でこのサービスを受けられていない対象者はいないのか。

**福祉課長** 施設入所して受けるサービスの利用費用であり、町内には介護老人福祉施設2施設、介護老人保健施設1施設がある。現在、重複して申し込みしている方を含め27名の待機者がいるが、その方たちは他の施設を利用しており自宅で待機している方はいないと伺っている。今後も必要なサービスを受けられるよう対応する。

#### 町立真室川病院事業会計 会計決算附属書類

**小松健弥委員** 令和5年度は職員が3名減となっている。職員確保の具体的な取り組みは行っているのか。また令和6年度の予算審査の際に勤務体制を3交代制から一部2交代制へと変更するという話があった。その後体制変更に伴い対象職員の方に体調等の聞き取りは行っているのか。問題は無いのか。

**病院事務長** 病棟看護師の補助者ということで見護ヘルパーの増員で対応している。令和5年度当初は1日勤務4名、半日勤務1名の体制であったが、現在は1日勤務5名、半日勤務3名の体制である。2交代制勤務については対象者への聞き取り調査を行っており、希望者も多く、当初10名

でスタートしたが現在は19名に拡大している。要因としてはシフト交代時も勤務中も充分な休憩時間や休みが取れていることや勤務上夜間を通して患者さんの状況を把握しやすいことと併せて勤務の申し送りやしやすくなったという勤務上のメリットがある。また、本人の希望を聞きながら勤務シフトを作成している。

**姉崎園子委員** これから町立真室川病院のあり方をどのように考えているか。

**病院事務長** 人員確保をしながら、町立真室川病院として診療を続けていくように努力していく。



の事業用家電への対応は。

**企画課長** 事業用家電等については、商工会が窓口となっているセーフティネットという融資制度がある。その融資制度を活用して頂き対応をお願いする。

#### 公共土木施設災害復旧費

**高橋秀則議員** 詳細の説明を。

**建設課長** 町道5路線、中村高坂線、新町小林線、詰田沢下小又線、西郡小国線、小国西川線と2河川、神ヶ沢川流雪溝の導水路、安楽城蒲沢川西郡地区県道と町道T字路付近の復旧工事である。

#### 災害住宅応急修繕料

**高橋秀則議員** 詳細の説明を。

**建設課長** 災害救助法における住宅の緊急修理制度に基づく対応で、今回罹災証明を受けた

## 9月 定例会

会期：9月5日～11日

# 災害対応で緊急補正

## 専決と補正で計9億円超を計上

#### ◆専決処分報告

一般会計補正予算・

小災害復旧事業費

**平野勝澄議員** 工事を業者に頼んでもいつになるかわからない、人手が足りない事態が起きているが、何か手を打てないか。

**農林課長** 町としてもお願いはしているが、手が回っていないのが現状だ。予算は年度内で考えているが、難しいとなったときは繰越も検討したい。

#### ◆専決処分報告

水道会計補正

小松健弥議員

安楽城第1水源池仮復旧修繕料であるが、今後本復旧の際には施設の改善

9月定例会は、5日から11日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、各会計補正予算など町長提出案件9議案、令和5年度各種会計決算を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決されました。

をしないと同じ状況が起これるのではないか。

**建設課長** 現在、安楽

城第1水源池の仮復旧している電気系統設備、水源池の取水ポンプの本復旧予算。国補助による災害復旧事業は原形復旧が基本。施設の耐水化については町アセットマネジメント及び広域化推進プランに基づき施設の統廃合と合わせて検討していく。

#### ◆広域事務組合の規約改正

高橋秀則議員

広域市町村圏事務組合に新たに副管理者を置くというものであるが、今までの事務局長の部分で副管理者とすることな

のか。報酬についてはどうなのか。任期2年とのことだが再任を妨げないという対応なのか。

**町長** 事務局長の代わりということではなく、人事管理上、内情として事務局長に相当する者がいない場合に副管理者を置くという対応である。報酬については現事務局長の報酬を上限とする。また任期については2年以上ということとは無いと考えており、広域事務組合職員から適切な人材が育つと考えている。

#### ◆一般会計補正予算

#### 災害復旧費

**五十嵐久芳議員** 補正予算で5億8000万円強、専決処分分3億3300万円、合計で約9億1300万円になる。町の関わる災害被害額としてはこの金

額が被害の最終額でよいのか。

**総務課長** 農業用については、被災額を把握し国や県に報告済み。その他の被災額については専決並びに補正予算で計上。町の直接的な負担、補助の部分と、実際の補助金額は、補助率の違いがあり全額把握できない。農地用施設は稲刈りが進むと被害が増えてくる可能性があると考える。

#### 地域おこし協力隊

**姉崎園子議員** どのような起業を考えているのか。

**企画課長** 昨年度に退任した協力隊の方が、ICTの講師を自宅で行うために改装し、ICT設備を整えるための補助の申請である。

#### 被災世帯生活家電購入支援補助金

佐藤正議員 被災商店



大規模半壊、中規模半壊、半壊が最大71万7千円で、準半壊が最大34万8千円という制度の中の修繕費である。

#### 農業用施設災害復旧費

小松健弥議員 補助金

活用 of 具体的説明を。

農林課長 県からの農業災害に対する補助金を計画している。まだ要綱の詳細は決まってい

ないが、町としては水稻と野菜について県から1/3補助で栽培面積から算定し町加算分の1/6補助の予算計上している。

高橋秀則議員 詳細の説明を。

農林課長 災害復旧工

事の対象件数については、計7か所9件で内訳は農地3件、農業用施設6件。

農業等購入事業費補助金については、県補助金に町で1/6を加算する。まだ要綱詳細

#### 新型コロナウイルス感染症対策事業

姉崎園子議員 対象者

年齢、医療従事者の接種については。

福祉課長 真室川町に住

住民票がある65歳以上の方、60歳から64歳以下の方で、特定の障がいをお持ちの方が対象。医療従事者への接種は国が定める定期接種の対象ではないことから考えていない。

#### 学校情報機器活用支援体制整備費補助金

小松健弥議員 補助金

使途の具体的説明を。

教育課長 学校のネット

ワーク診断とICT教育支援のための委託

金について県からの補助金を見込み、計上して

いる。

#### 小中学校ネットワーク診断委託料

姉崎園子議員 どのよ

うな目的で使用するの

か。

教育課長 小中学校で

使用されているICT端末機器が良好に使用されているか、通信ネットワーク状況を診断するものである。当初導入時、つながりの確保はされていたが、つながりにくいケース、



がある。専門の業者へネットワークの評価をお願いし、改善していくためのものである。

#### その他の議案

- ◆後期高齢者医療連合の規約改正
- ◆町教育委員会委員の任命同意
- ◆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の改正
- ◆介護保険会計補正予算
- ◆病院事業会計補正予算
- ◆水道事業会計補正予算

(※議案名は簡略標記しています)

## 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

## 町政を問う

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員…………… P 7  
●真室川町史編さんの時期では
2. 菅原 道雄 議員…………… P 8  
●持続可能な町づくりは
3. 小松 正弘 議員…………… P 9  
●真室川公園の今後の整備計画について
4. 小松 健弥 議員…………… P 10  
●これからの農業に対する振興策は
5. 平野 勝澄 議員…………… P 11  
●災害対策・災害予防のさらなる充実を

## ■真室川町史編さんの時期では



姉崎 園子 議員

### 教育長

## □求められる町史の在り方も含め研究していく

議員 真室川町史編さんより30年が経ち新たな町史の発行が必要では。

教育長 本町をはじめ、国内の多くの自治体において、郷土の歴史が自治体史として編纂されている。①町への理解と愛着を深め、住民文化の向上に寄与すること、②歴史の変遷及び古くからの生活や民俗を将来のまちづくりや住民生活に役立てること、③歴史的、文化的遺産を調査し、住民共有の財産として後世に継承することの3つの目的があると考え

よそ10年の月日をかけ編さん刊行したものである。二度目は、平成9年に、市町村合併40周年を記念し発行したもので、平成3年から6年をかけ、大友義助氏を編集委員長に、7名の編集委員の多くのご苦労とご尽力により発行されたものである。平成9年の新版は、昭和20年以降の戦後・高度経済成長をはじめとする新たな社会づくりが進んだ激動の時代の町の歩みを詳細にたどり、町が進むべき方向と郷土の発展に資することをねらいとしたものである。町民の皆様にもご一読いただき、町の歴史を再認識する機会にして頂きたい。町史編さんは、編さん方針を定め、膨大な資料の調査や収集、執筆作業、原稿の整理や編

集事務等、5年から10年の長い時間と労力をかけ出来上がるものであり、編さんに携わる方々の高い専門性や力添えがなければ、発行は難しく、人材確保の点で課題があると考え

平成・令和に引き継がれ、わが町を取り巻く社会情勢は激しく変化しており、町の歴史的な観点からも、時代をしっかりと振り返り、新たな視点からの町の未来を語り継ぐ資料が求められていると考えて







菅原 道雄 議員

## ■持続可能な町づくりは

町長

□前期基本計画4年目、指標の達成率99・2%

**議員** 町づくりには「暮らしやすい地域づくり」「働きがいと働きやすさのある町」「大

進捗状況を含め、町長の考えを伺う。

となっていくものと考ええる。

でも快適に住み続けられるよう、生活支援サービス提供、公共施設のバリアフリー化、雪

すと考えられる買物支援では、町営バスやデマンドタクシーといっ

町中心部以外でも物資の入手が可能になっているが、今後の動向を注視しながら日常生活を支える事業について検討していく。

「高齢者が住み続けられる町」「関係人口の増加による活気ある町」が必要と思われる。町の第6次総合計画、町の将来像「生きがいを感じ 幸せを感じるまち 真室川」を実現し、町民一人一人が真室川に住んで良かったと思える町づくりについて、前期基本計画の

**町長** 真室川音頭は本町の代名詞といっても過言ではなく、魅力ある町づくりの柱の一つになっている。伝統芸能や伝承野菜、自然環境も魅力の一つであり、森林鉄道やホワイトアスロンなど雪体験イベント、「及位」は難読地名として全国的に有名であり、こうした資源を発掘し、世に出ていくことが町の知名度アップにつながる。魅力ある町づくりの柱

また、高齢者になっ

た対応していく。

た対応していく。

た対応していく。



## ■真室川公園の今後の整備計画について

町長

□人が集い楽しんでもらえる公園にする



小松 正弘 議員

**議員** 自然エリア、梅林エリア、多目的エリア、各エリアの今後の整備計画について伺う。

**町長** 真室川公園の歴史は古く、大正13年に国有地を借用し、昭和39年から真室川都市公園として整備を行ってきた。昭和55年7月に町民の休息、鑑賞、散歩、遊技等、総合的な利用に供される総合公園として都市計画決定を行い、これまで梅の植栽、展望広場、東屋の整備、老朽化施設の撤去などを行ってきた。近年の整備は、平成27年に「真室川公園長寿命化計画・基本計画」を策定し、上段は森林散策・眺望スペースとする「自然エリア」、中段は梅の鑑賞、眺望スペースとする「梅林エリア」、下段は児童公園、イベント開催の

場とする「多目的エリア」とすることを基本的な方向性とした。令和2年度は、町内の小中学校、こども園、保育所に通う児童の保護者を対象に、レストハウス、児童公園のトイレ、遊具等についてのアンケートを実施、令和3年度から4年度にかけて休憩所とトイレの複合施設の新築と遊具のリニューアル整備を行った。一方、ソフト面の整備は、「春から秋まで楽しめる花木の植栽」、「除草の徹底や枯れ木の伐採」、「梅の木管理」などの提案・要望をいただいている。

上段の自然エリアについては、老朽木の伐採やチップの敷設による散策路の整備を行うとともに枯れ木等の支障木の伐採と合わせて



梅林エリアに新築中の東屋





小松 健弥 議員

## ■これからの農業に対する振興策は

町長

□耕畜連携による環境負荷を抑えた循環型農業を進めていく

な取組への支援も含め、関係機関と連携を図りながら農業政策を推進していく。

**議員** 本町の農業で多く取り組まれている水稻について、多くの課題があると考えている。就農者の高齢化と後継者不足、激変する気候変動への対応、生産コストの増加、土壌の変化、劣化への対応、需要の変化（国内で米の需要が少ない、減反政策）、地球温暖化対策など環境問題への対応も必要不可欠な時代となった。現在官民タスクフォースで菌根菌などを使った不耕起乾田直播節水灌漑による低コスト低

メタンの米づくりで輸出拡大を目指しているようである。農業にかかわる最新の情報収集と共有により営農者の方々の選択肢を増やし多方面からサポートするべきと考えるが、今後行政としてはどう取り組んでいくのか町長の考えを伺う。

**町長** 町内農家の現状について、令和6年度水稻共済細目書によると水稻作付けを行う経営体は306経営体で、うち水稻経営のみに限定した場合、53経営体

と依然として多いことが分かる。こうした背景から農家所得を増やし儲かる農業を実践するためには、園芸作物などの複合経営が推奨されているが、兼業農家の多い本町では主食用米からの転換として、加工用米や飼料用米・米粉用米・新市場開拓米などの新規需要米に取組むことで国からの助成が受けられ経営の安定化が図られる。菌根菌を使った乾田直播栽培は春作業を省力化でき低コスト栽培に

つながると期待されているが、町としては現時点で多くの課題があると考えている。新しい栽培技術に取り組まれる方、これまで培ってきた知識・技術で引き続き水田農業を継続される方、系統出荷や系統外出荷の方などいづれの方も応援しながら、耕畜連携による環境負荷を抑えた循環型農業を進めていくことが、持続可能な農業に資するものと考えている。農業新規チャレンジ支援事業による新た



## ■災害対策・災害予防のさらなる充実を

町長

□町民の不安や負担がなくなるよう、対策に力を入れていく



平野 勝澄 議員

**議員** ①避難指示発令の在り方について。住民の防災意識を今一度喚起する意味でも、あらためて警戒レベルと避難情報の意味合いについて再確認が必要ではないか。また、避難指示は大字レベルで出されているが、もっと細かく指定できないものか。

②ハザードマップに関して、町道新町小林線の道路流出やJR奥羽本線の川ノ内下の路肩決壊などはノーマークだった。次期ハザードマップの作成にあたっては、この点を十分に考慮されたい。と同時に、現在通行制限のある各道路の復旧を、町道はもとより、県管理の道路やJRなどに関しては管理主体への要請も含めて、早急に進めるよう求める。

**町長** ①今回の避難指示は大字単位で発令しているが、対象地域の全員に避難所への避難を指示しているわけではない。周辺の河川の氾濫、法面の崩落などにより孤立の危険性なども総合的に勘案し自分や家族を守るために取るべき行動を日頃から心がけてもらいたい。

②本町は国や県の管理河川以外にも小河川や急峻な山から流れ出る沢が多数あり、予測は困難だが、今後、県が策定する新たな浸水予想などの情報と今般の被災箇所を取り入れたハザードマップの更新を計画する。道路復旧については業者の頑張りとあり、だいが進んできた。JRも早期復旧の方針と聞く。国道344号線については時間がかりそうだ。



JR奥羽本線の被災箇所(川ノ内下)

JRについては秋田県、国道344号線については酒田市とも連携し、要望を強く行っていく。



# あさひ小学校長寿命化

## 教育環境と安全対策に配慮

## 第1回臨時会

会期：7月24日

菅原道雄議員 長期を要する工事となるが、教育環境や安全対策、また工期はどうなっているか。

教育課長 学校内の配管工事なので、通常の学習に影響が出ないよう配慮する。より良い学校環境を整備するために、工事音や工事区域、工事用車輛の出入りなど心配はあるが、工事業者や設計業者、学校、教育委員会で打合せを密にし、教育活動に支障がないよう協議しながら実施する。安全が必要など、このにはバリケードや立入禁止区域表示の看板を設置するなど、安全

◆あさひ小給排水管及び浄化槽更新工事請負契約

第1回臨時会は、7月24日に1日間の会期で開かれ、町長提出の契約案件1議案を慎重に審議し、原案のとおり可決されました。

対策をしっかりと行う。また、近隣住民にも区長回覧で大型車輛の通行に理解と協力を周知するなどの対策を講じている。工期は、議決後から令和7年2月4日までの7か月の予定である。

## 議会のうごき

令和6年7月～10月

- 7月23日(火) 町議会運営委員会、同全員協議会、区長会との意見交換会及び懇談会  
24日(水) 町議会第1回臨時会  
29日(月) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会  
31日(水) 県町村議会議員(女性議員)意見交換会  
8月1日(木) 町議会議員協議会  
13日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会  
14日(水) 真室川町二十歳を祝う会  
17日(土) 山神神社社祭式  
20日(火) 最上広域市町村圏事務組合 新消防庁舎建設工事起工式・安全祈願祭  
町議会議員協議会  
22日(木)～23日(金) 秋田・岩手・山形3県合同議長・局長合同研修会  
25日(日) 新庄まつり本まつり観覧  
27日(火) 町農業委員会との意見交換会及び懇談会  
29日(木) 町議会運営委員会、同全員協議会  
9月5日(木)～11日(水) 第3回町議会定例会  
14日(土) 町敬老会  
15日(日) 第49回町防災訓練  
19日(木) 第62回最上地区生涯学習推進大会、第41回山形県生涯学習振興最上大会  
20日(金) 最上開発協議会要望活動  
24日(火) 東北中央自動車道新庄・湯沢間建設促進フォーラム  
26日(木) 町グラウンドゴルフ協会との交流会  
29日(日) 第36回真室川音頭全国大会  
10月1日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会  
3日(木)～4日(金) 村山・庄内・最上地方町村議会議長会合同研修会  
5日(土) 金山町町制施行100周年記念式典・祝賀会  
6日(日) 第31回町民芸術祭、県児童生徒版画展表彰式  
8日(火) 最上広域市町村圏事務組合定例会、町連合婦人会との交流会  
10日(木) 全国環境連第48回全国大会  
12日(土) 古河関東ドモンナ力祭り  
13日(日) 第48回東京真室川会総会・懇親会  
17日(木)～18日(金) 置賜・最上地方町村議会議長会合同研修会  
18日(金) 最上地区広域連合議会定例会  
25日(金) 県町村議会議員研修会

○議会広報常任委員会の開催 (9/25、10/1、10/8、10/15)



あさひ小工事状況

※議員へ配布のみ

【提出者】 沖縄に応募する会

代表

漆山ひとみ

●母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

【提出者】

張 一文

※議員へ配布のみ

●国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

## 請願

案件がありませんでした。

## 陳情

## 総務文教・産業福祉 常任委員会

### 宮城県女川町

平成23年3月11日発生の東日本大震災により、町中心部は壊滅的な被害を受けた。町全体で一日も早い復興とこれまで以上の水産都市の実現を目指している。

### 公民連携による復興まちづくり

行政と民間が協力。「まちづくりワーキンググループ」で将来の姿を検討、「復興まちづくりデザイン会議」でまちのデザインを検討。

町中心部の復興市街地整備では、国道を防潮堤機能を兼ねる高さにし、その高さにあわせ商業地・津波避難ビルなどを立地、市街地エリアとした。背後を震災レベルの津波でも浸水しない高さまで盛土し居住地に。新たな

造成地も。町管理漁港に防潮堤を造らず、海を遮らないまちづくりをめざした。駅前商業エリアは町道と民地が一体となる広場的な使い方も可能な空間デザインとし、民間事業者の活力を活かした商業エリア全体の賑わい創出を実現している。

### 女川町が目指した中心市街地まちづくりの将来像

公と民がチームとしてそれぞれ得意な役割を担うことで、持続可能な地域経営の実現をめざしている。

- ①コンパクトで利便性の高い中心市街地形成
- ②土地と建物の所有と利用を分離
- ③民間主導・公民連携による街区運営

### 視察を終えて

女川町は震災によってほぼ何もなくなったが、だからこそ新たなまちづくりに取り組めた

面もある。市街地整備後には、民間事業者が定期的にイベント等を開催、交流人口の増加にも継続して取り組んでいる。

当町では、中央公民館改築や町立地適正化計画など、真室川駅前周辺エリアで持続可能なまちづくりに向けた取り組みが始まっている。事業者や各種団体の町民と町が魅力あるまちづくりの意識を共有すること、交流人口増など含め町全体の活性化促進を期待する。

## 議会活性化特別委員会

### 岩手県平泉町

議会におけるデジタル活用推進の取り組みがすすんでいる。議会基本条例の検証と改正。通年会期制導入。議会モニター設置、議会傍聴(モニター傍聴)室設置。議会へのタブレット端末導入。

・オンラインによる災害対策連絡会議

### 視察を終えて

平泉町では、開かれた議会をめざし「議会改革推進会議」を設置、ICT化の推進、災害時の議会機能維持を目的とした業務継続計画の策定、町民参画のワークショップ形式の対話や議会だよりモニターの設置などを実施。当町でもタブレット端末導入や議会(だより)モニター制度導入など、積極的に検討していきたい。



平泉町議場にて

## 町民の声

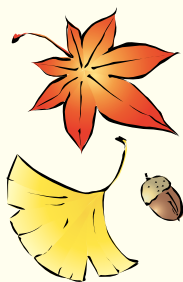
### 令和六年九月町議会定例会を傍聴して

大滝区長 栗田 進さん

町区長会の研修事業の一環として、町議会定例会の傍聴研修の実施案内を受け、昨年に続き3回目の傍聴になりました。

今回は二日目の一般質問を傍聴させていただきました、3人の議員が質問する姿勢や真摯に答弁する町執行部の姿勢が思い出されます。

これまでは、町の広報や議会広報を流すように見ていた町の施策などについて、傍聴を機にしっかりと読み込むよう改めなければならないと思います。型苦しく敷居の高いイメージの議会傍聴ですが、大変有意義で勉強になりました。今後はより多くの町民に足を運んでもらい傍聴席が満席になることを期待します。



## 傍聴お待ちしております

● 次回の  
定例会は

# 12月です

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで  
☎62-2220 (直通)

## 議会広報常任委員会

|      |      |
|------|------|
| 委員長  | 小松健弥 |
| 副委員長 | 舟生源氏 |
| 委員   | 姉崎園子 |
| 委員   | 小松正弘 |
| 委員   | 平野勝澄 |

7月の豪雨災害で被災された町民の皆様には心からお見舞い申し上げます。さて、国会では石破内閣発足、衆議院解散総選挙と社会情勢が大きく動いています。暑かった夏もようやく終わり、みどりの秋、芸術の秋にふさわしい季節になりました。先日、町民芸術祭を拝見させて頂きました。舞台での堂々とした発表は日々の練習の成果、努力の賜物と感じ伝わり、心豊かな一日でした。10月より新型コロナウイルスワクチン接種、インフルエンザ予防接種が始まっています。うがい、手洗いを心掛け感染予防に努めましょう。(姉崎園子)

編集を終えて